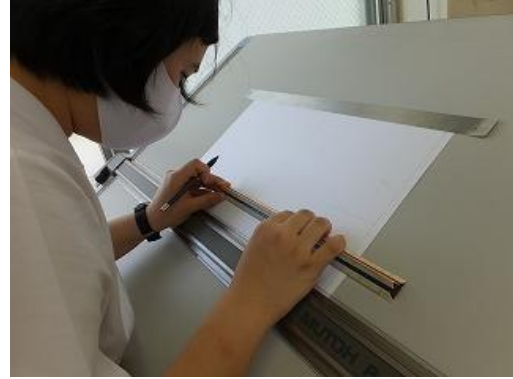


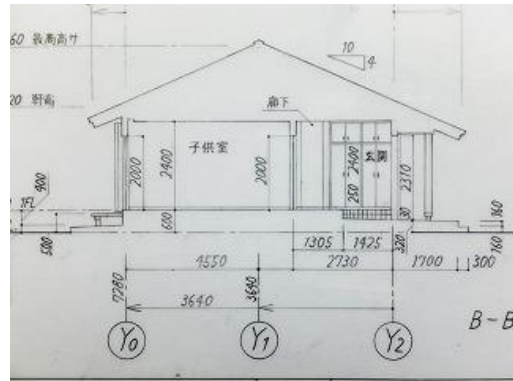
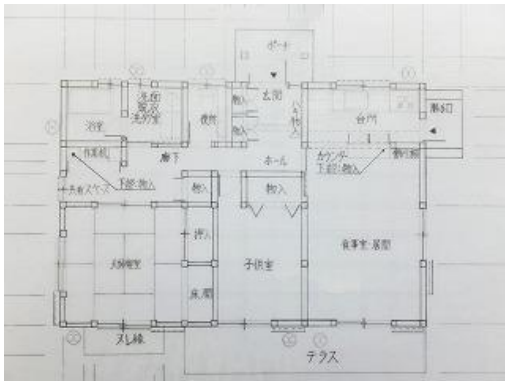
製図とは、建築空間の構想を図法や規約に沿って図面に表すことです。図面は、設計者が頭にえがく構想を具体的な形に示すもので、誰が、どのような視点から見ても、その意図が正確に伝わるような正確性や客観性が求められます。また、建築物を計画する設計者や建築物を実際に建築する施工者は、図面を通してたがいにコミュニケーションをとりながら工事をすすめていきます。

建築科では、製図の授業で、手がきを中心とした設計製図の基礎・基本を3年間かけて学習します。



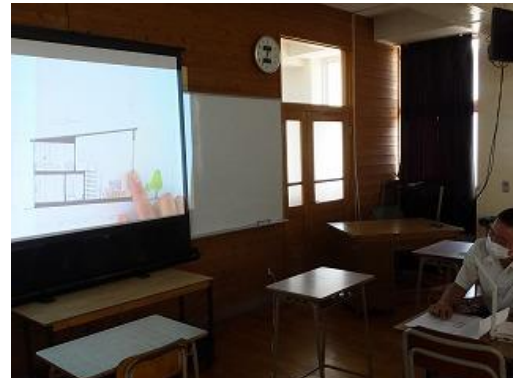
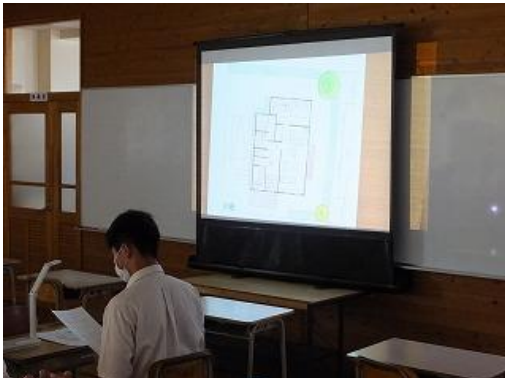
平屋建専用住宅設計図（木造）

身近な木造平屋建専用住宅を例にとって、設計の進め方、必要な図面の種類と記入すべき事項、および作図の順序を学習します。



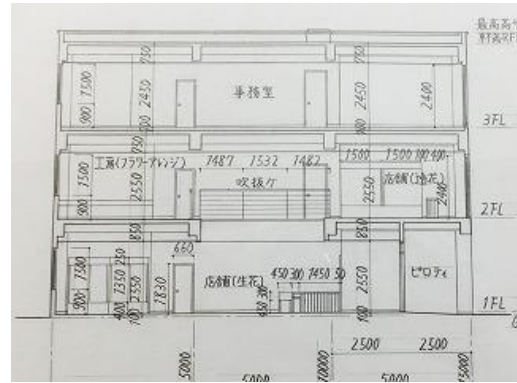
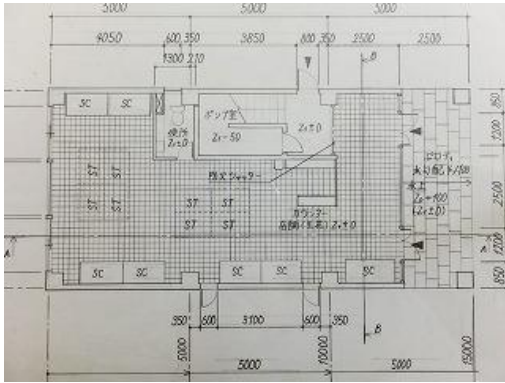
自由設計（木造住宅）

計画の構想を自由な表現で表す図を構想図といい、その中でも、スケッチなどにより構想をまとめたものをエスキスといいます。この授業では、企画や設計条件に基づいて基本構想をまとめ、エスキスをかき、配置・平面・断面の各計画ごとの具体化に向けた検討について学習します。



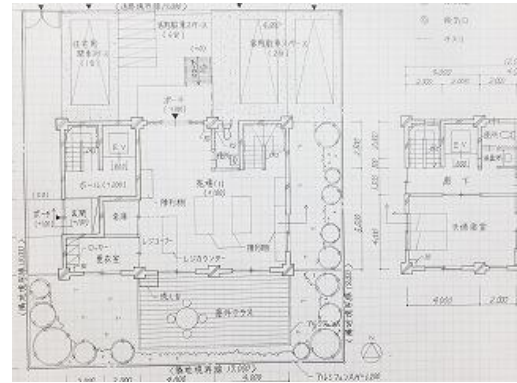
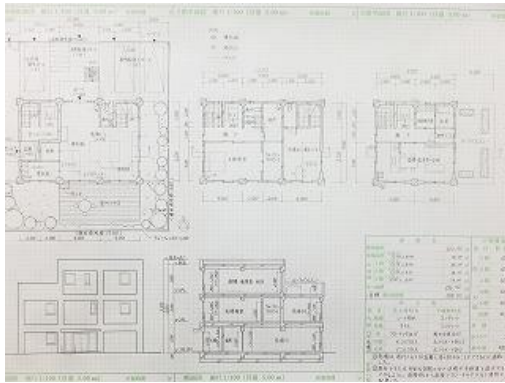
店舗付事務所設計図（鉄筋コンクリート構造）

店舗付事務所を例にとって、鉄筋コンクリート構造（RC造）の設計と製図法を学習します。



2級建築士試験・設計製図課題

本校建築科を卒業すると、2級建築士試験の受験資格が得られます。この授業では、過去問題を例にとって、試験で課される設計製図課題に慣れるよう学習します。



卒業設計

3年生では、建築科での学習の総仕上げとして「卒業設計」が課せられます。日頃から「夢の建築」を考えておくと、素晴らしい設計ができるでしょう。

